

## 持続可能な滋賀社会づくり構想のねらいについて

### 1 背景

地球温暖化の危機、資源の浪費による危機、生態系の危機など、現在のシステムによる社会の持続可能な発展は困難となりつつあると考えられる。人間活動を地球環境容量内に収めつつ、すべての人々が質の高い生活を享受できる社会を実現することが地球規模での課題となっている。

本県においても、琵琶湖をはじめとする身近な環境と生態系を健全に保ち、経済発展を通じて、県民すべての生活の質の向上を図り、持続可能に発展する滋賀社会の実現や、さらには地球環境保全と世界の人々の安全で豊かな生活の実現に貢献することが課題となっている。



#### 【持続可能な社会】

健全で恵み豊かな環境が地球規模から身近な地域まで保全されるとともに、それらを通じて世界各国の人々が幸せを実感できる生活を享受でき、将来世代にも継承することができる社会（「21世紀環境立国戦略」より）

この持続可能な社会を実現するためには、例えば、地球温暖化対策では今後気温上昇を1990年比2℃以下に抑えることが求められている（IPCCの報告による）。しかしながら、現在考えられる方法の延長では気温上昇を抑えるのは難しいのが現状であり、長期ビジョンを持ち対策を実施していくことが必要となっている。

### 2 ねらい

今回の構想では、2030年の持続可能な滋賀の社会像をまず想定し、それを実現するための対策を考える。いわゆる「バックキャストिंग」によりビジョンを描くこととする。

人間活動を地球の環境容量内に収めつつ、すべての人々が安全で質の高い生活を享受できる社会を実現することの必要性を明らかにする。

資源生産性の向上、再生可能エネルギーの導入、生態系保全等により、環境・経済・社会が協調して持続的に発展するためのシナリオを明らかにする。

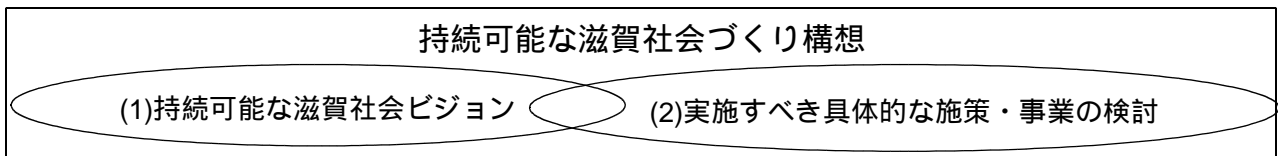
2030年という長期的視点で、持続可能な社会のビジョンを描き、その実現に向けたシナリオを提示し、併せて実現するための対策や施策の方向を提案する。



「21世紀環境立国戦略」を踏まえつつ、県民・事業所の創意工夫や活力を最大限に引き出し、他に先駆けて新しい社会モデルづくりに取り組み、新たな県民生活の質の向上や新たなビジネスチャンスの拡大など、県の発展につなげる。

### 3 構成

「持続可能な滋賀社会ビジョン」(持続可能な社会像と、実現に向けたシナリオ)と、ビジョンを達成するための「実施すべき具体的な施策の検討」の2つで構成する。



### 4 既存計画等との関係

- (1) 21世紀環境立国戦略：戦略の考えを踏まえつつビジョンを検討する。
- (2) 滋賀県基本構想：基本構想の理念を実現するため環境側面での取組を描く。
- (3) 環境総合計画：総合計画の長期ビジョン(理念)とする。
- (4) 滋賀県地球温暖化対策推進計画：温室効果ガス9%削減(目標年2010年)
- (5) その他諸計画へ反映する。

